

動物を取り巻く社会問題 (補助犬および殺処分に対する意識) についての自主調査結果

2022年8月2日



日本リサーチセンター

Member of WIN and Gallup International Association

調査目的

日本リサーチセンターでは、
日本リサーチセンター・オムニバスサーベイ(NOS)を利用して
日本全国の15～79歳男女個人1,200人における

ペットの同居状況と今後の迎え入れ意向

職業犬・補助犬への意識

殺処分ゼロ活動への意識

を把握することを目的にアンケート調査を実施いたしました。

日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ(NOS)

定期的を実施する乗り合い形式（オムニバス）の全国調査です。**調査員が、ランダムに決められた地点で対象となるお宅を訪問し、1,200票を回収**しています。インターネットやパネルを使って簡単に調査ができる時代になりましたが、NOSでは50年にわたり、サンプリングにこだわって**代表性と信頼性の高い安定したデータを収集**しています。

複数調査の乗り合い形式のため、単独で実施する場合に比べて**費用が割安**です。詳細は以下をご参照ください。

<https://www.nrc.co.jp/solution/nos/index.html>

質問項目

ペットの同居状況と今後の迎え入れ意向	ペットの同居状況	【すべての方に】 問1 お宅では、ペットと暮らしていますか (飼っていますか)。 (○はい/□でも)
	今後のペットの迎え入れ意向	【すべての方に】 問2 お宅では、今後ペットを迎え入れたいですか。既に一緒に暮らしている方は、さらに迎え入れたいですか。 (○はい/□でも)
	ペットの迎え入れ元	【すべての方に】 問3 もし、今後ペットを迎え入れるとすれば、どこから迎え入れたいと思いますか。 (○はい/□でも)
	ペットショップから迎え入れたい理由	【問3で「1 ペットショップ」に○印がついた方に】 問4 ペットショップから迎え入れたい理由をお知らせください。 (○はい/□でも)
	保護施設等から迎え入れない理由	【問3で「5 保護施設・団体」「6 保健所」「7 譲渡会」のいずれにも○印がつかなかった方に】 問5 迎え入れ先として「保護施設・団体」「保健所」「譲渡会」を選ばなかった理由をお知らせください。 (○はい/□でも)
職業犬・補助犬への意識	職業犬の認知	【すべての方に】 問6 あなたが見聞きしたことのある「職業犬」を全てお知らせください。 (○はい/□でも)
	補助犬への意識	【すべての方に】 問7 「補助犬」(盲導犬・聴導犬・介助犬)について、あなたはどのように思いますか。 (○はい/□でも)
	ほじょ犬マークの認知	【すべての方に】 問8 あなたは右の「ほじょ犬マーク」を見たことがありますか。 (○は1つだけ)
殺処分ゼロ活動への意識	参加したい殺処分ゼロ活動	【すべての方に】 問9 犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動や補助犬の支援について、あなたが今後参加・行いたいと思うものをお知らせください。 (○はい/□でも)
	殺処分ゼロ活動を支援企業への応援意向	【すべての方に】 問10 犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動や補助犬を支援する企業に対して、商品やサービスを購入するなどして応援したいと思いますか。 (○は1つだけ)



ペットの同居状況と今後の迎え入れ意向

ペットの同居状況



- 回答者全体の31.6%が、現在ペットと同居している。
- 同居しているペットの種類は、「犬」が最も多い。

今後のペットの迎え入れ意向

- 回答者全体の27.5%が、今後ペットを迎え入れたいと回答。
- 迎え入れたいペットの種類も、「犬」が最も多い。

どこから迎え入れたいかとその理由

- 今後、ペットを迎え入れたい人に、どこから迎え入れたいかを聞くと、約半数は「保護施設・団体」と回答。
- ペットショップから迎え入れたい理由としては、「種類が豊富」、「何度か見て選べる」といった、“選べる”という理由が上位。
- 「保護施設・団体」「譲渡会」「保健所」から迎え入れたいと回答しなかった人に、その理由を聞くと、「手順がわからない」(44.9%)が最も高い。

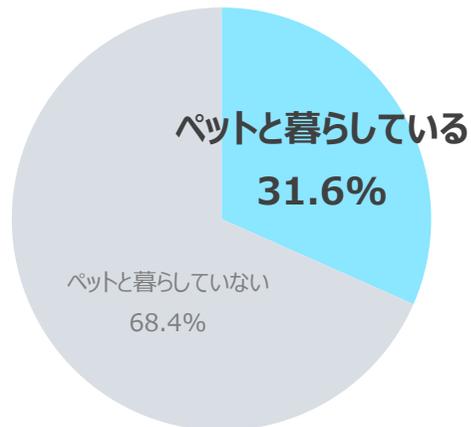
ペットの同居状況

【すべての方に】

問1 お宅では、ペットと暮らしていますか (飼っていますか)。(〇はいくつでも)

ペットの同居状況

無回答を除く
N=1,194



今後のペットの迎え入れ意向

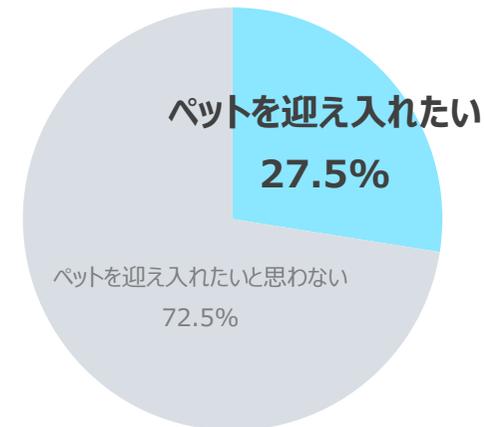
【すべての方に】

問2 お宅では、今後ペットを迎え入れたいですか。

既に一緒に暮らしている方は、さらに迎え入れたいですか。(〇はいくつでも)

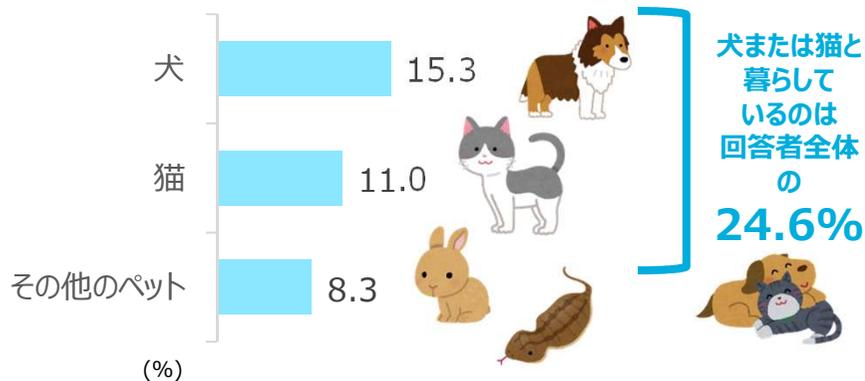
今後のペットの迎え入れ意向

無回答を除く
N=1,193



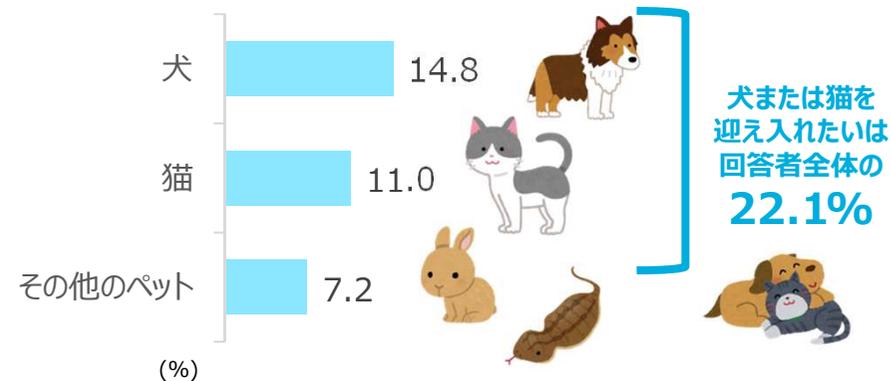
同居しているペットの種類

無回答を除く
N=1,194



今後、迎え入れたいペットの種類

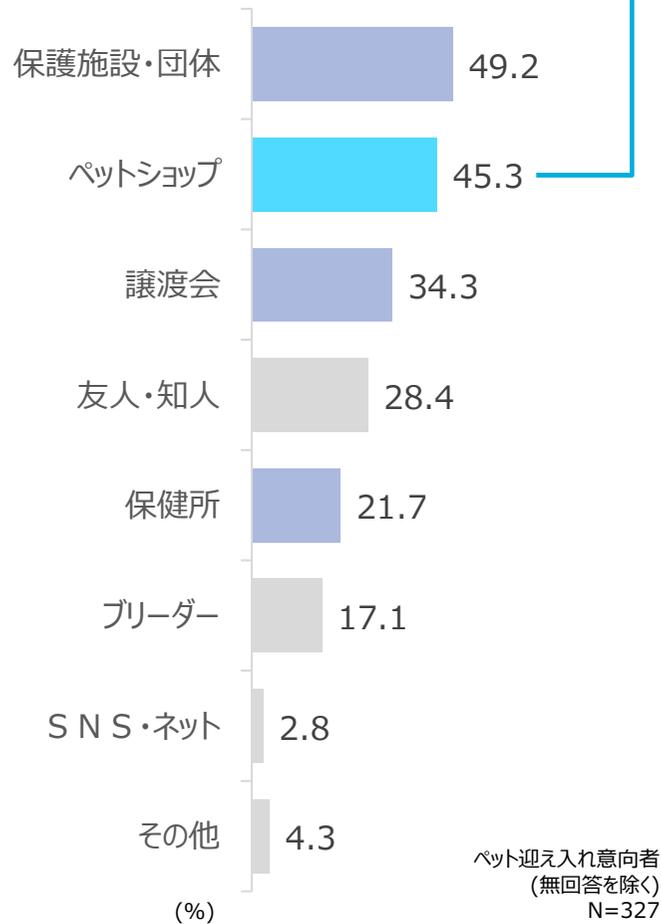
無回答を除く
N=1,193



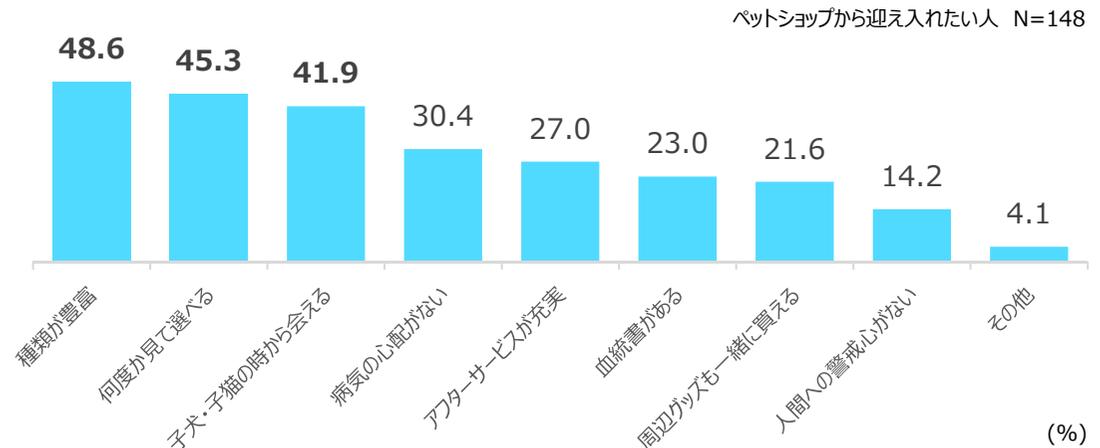
今後、どこからペットを迎え入れたいかとその理由

【すべての方に】問3 もし、今後ペットを迎え入れるとすれば、どこから迎え入れたいと思いますか。(〇はいくつでも)
 【問3で「1 ペットショップ」に〇印がついた方に】問4 ペットショップから迎え入れたい理由をお知らせください。(〇はいくつでも)
 【問3で「5 保護施設・団体」「6 保健所」「7 譲渡会」のいずれにも〇印がつかなかった方に】
 問5 迎え入れ先として「保護施設・団体」「保健所」「譲渡会」を選ばなかった理由をお知らせください。(〇はいくつでも)

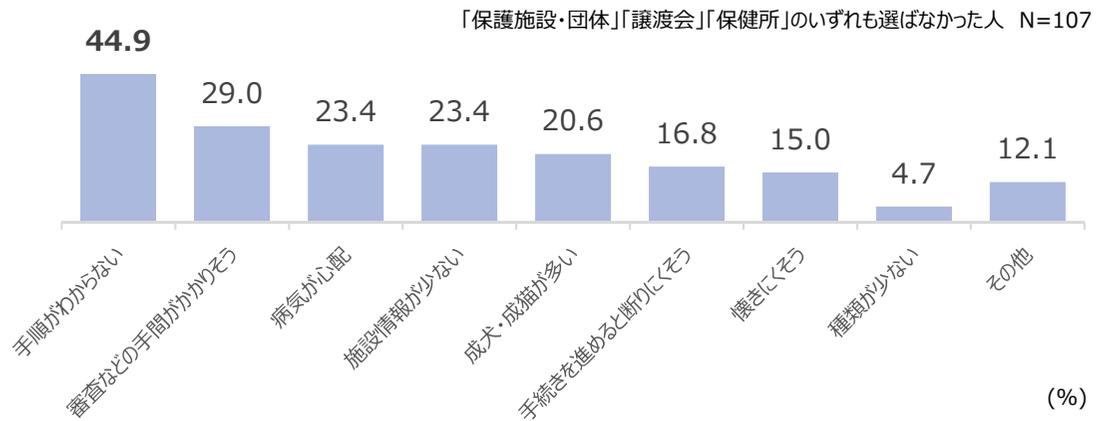
今後、どこからペットを迎え入れたいか



ペットショップから迎え入れたい理由



保護施設・団体、譲渡会、保健所から迎え入れたいと思わない理由



※「ペット迎え入れ意向者」：問2で「犬・猫・その他のペット」のいずれかのペットを迎え入れたいと回答した人

職業犬・補助犬への意識



職業犬の認知状況

- 職業犬のそれぞれの認知状況は回答者全体で、「盲導犬」、「警察犬」が9割、「介助犬」が8割、「災害救助犬」が7割の認知がある一方で、「聴導犬」の認知は4割に満たない。

補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)に対してどう思うか

- 盲導犬、介助犬、聴導犬のことを指す“補助犬”に対してどう思うかを複数回答で聞くと、回答者全体で「利口だ」、「従順だ」、「やさしい」、「かっこいい」といった“プラスイメージ”が上位で、回答者全体の約9割が、プラスイメージのいずれかを回答。
- マイナスイメージを回答をしている人は、回答者全体の約2割。その中では、「自由がない」というイメージが最も高い。

ほじょ犬マークの認知状況

- 「ほじょ犬マーク」の認知状況は、回答者全体で「見たことがある」が約4割。
- 年代別にみると、20代以下では認知が5割を超えており、若い人ほど認知が高い傾向。



職業犬の認知状況

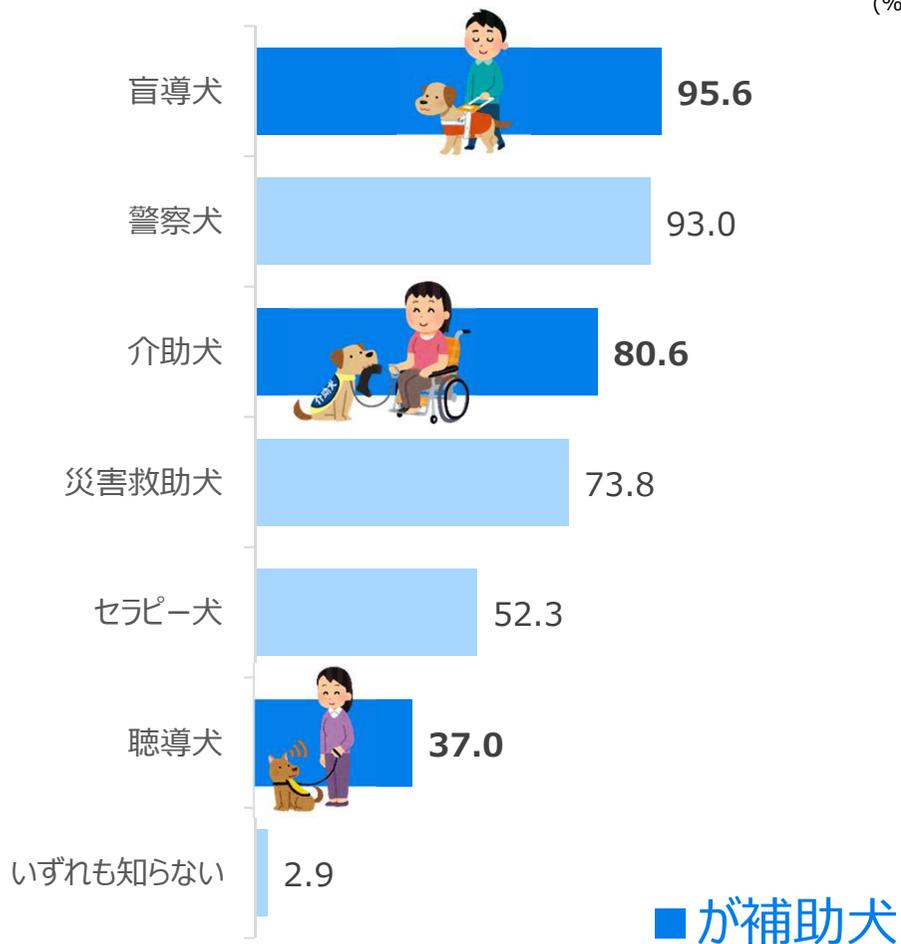
【すべての方に】

問6 あなたが見聞きしたことのある「職業犬」を全てお知らせください。(〇はいくつでも)

職業犬の認知状況

無回答を除く
N=1,192

(%)



補助犬に対してどう思うか

【すべての方に】

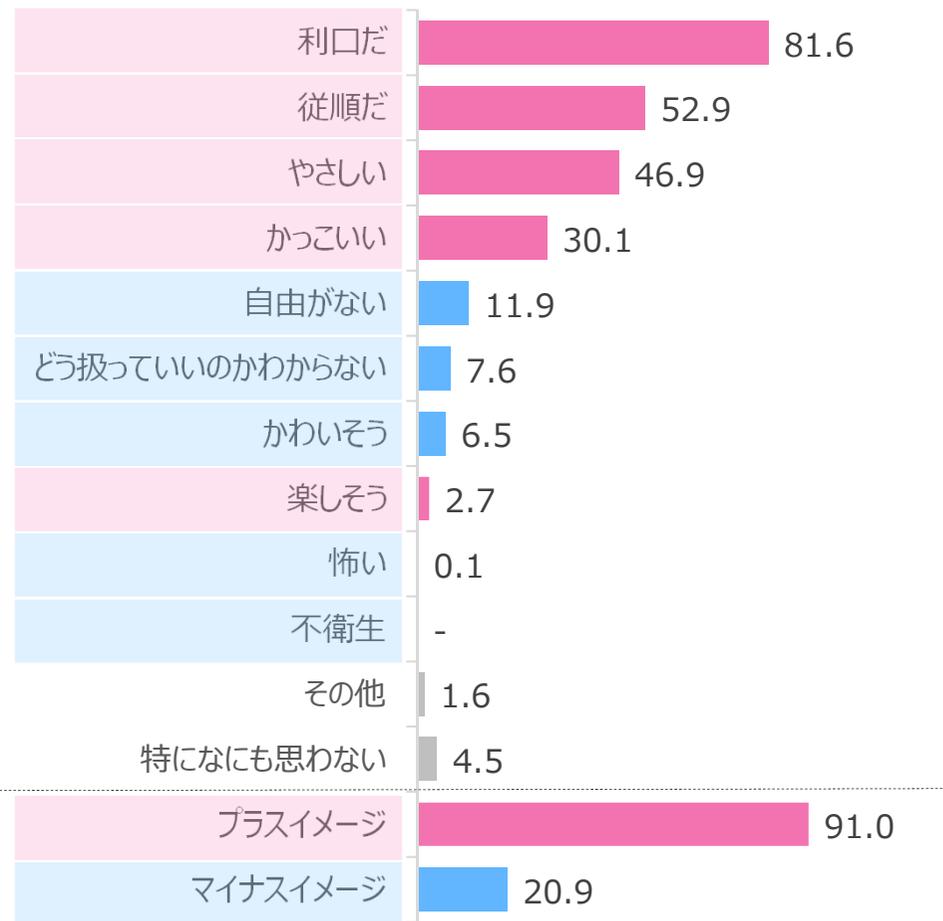
問7 「補助犬」(盲導犬・聴導犬・介助犬)について、あなたはどのように思いますか。

(〇はいくつでも)

補助犬に対してどう思うか

無回答を除く
N=1,191

(%)



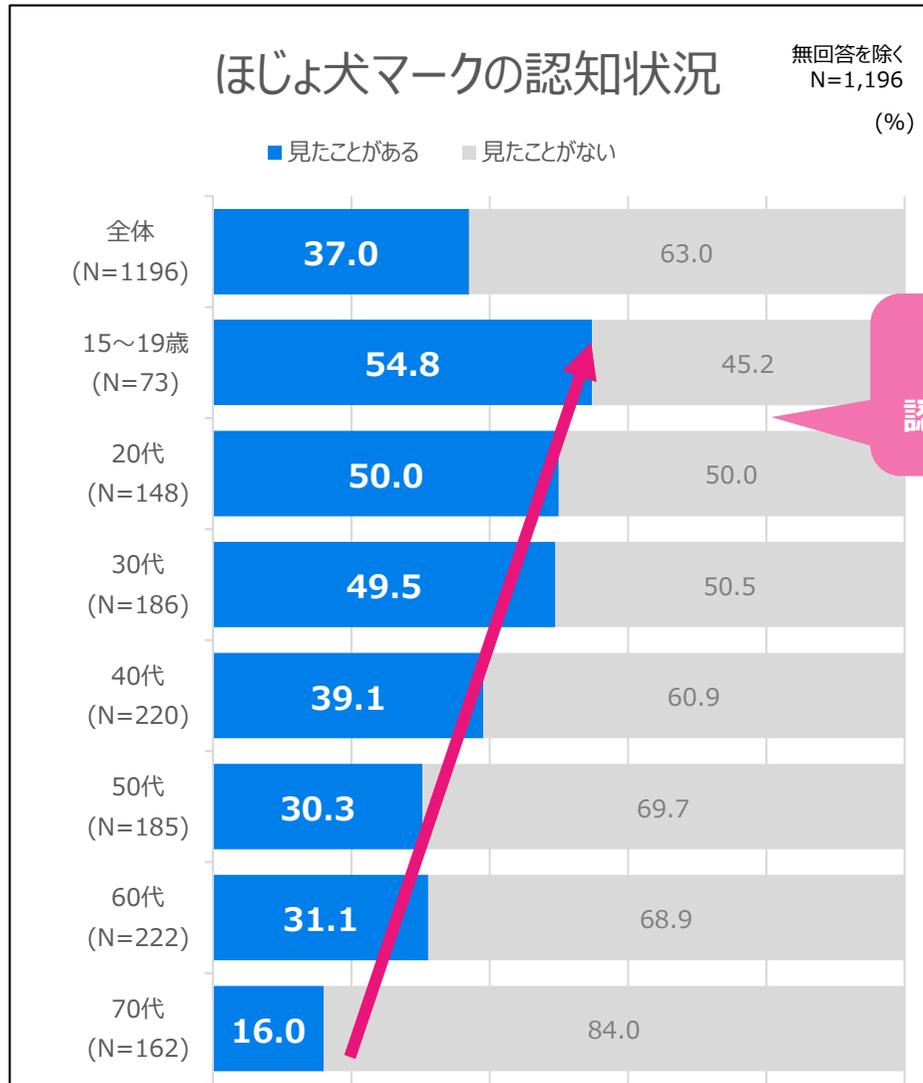
※「プラスイメージ」: 「利口だ」、「従順だ」、「やさしい」、「かわいい」、「楽しそう」のいずれかを回答

※「マイナスイメージ」: 「自由がない」、「どう扱っていいのかわからない」、「かわいそう」、「怖い」、「不衛生」のいずれかを回答

ほじょ犬マークの認知状況

【すべての方に】

問8 あなたは右の「ほじょ犬マーク」を見たことがありますか。(○は1つだけ)



若い人ほど
認知が高い傾向

「ほじょ犬マーク」とは
身体障害者補助犬法の啓発のため、施設や店などの入口に貼るマークです。身体障害者補助犬は、盲導犬、介助犬、聴導犬のことを言い、身体しょうがい者の自立と社会参加に資するものとして、身体障害者補助犬法に基づき訓練・認定された犬です。
詳細は、厚生労働省のHPをご参照ください。
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_15684.html



殺処分ゼロ活動への意識

殺処分ゼロ活動の中で参加したいもの

- 殺処分ゼロ活動の中で参加したいものを聞くと、回答者全体で「募金活動・寄付に参加したい」が最も高い。しかし、回答者全体の半数以上は「特に行いたいと思うものはない」と回答。

殺処分ゼロ活動を支援する企業への応援意向

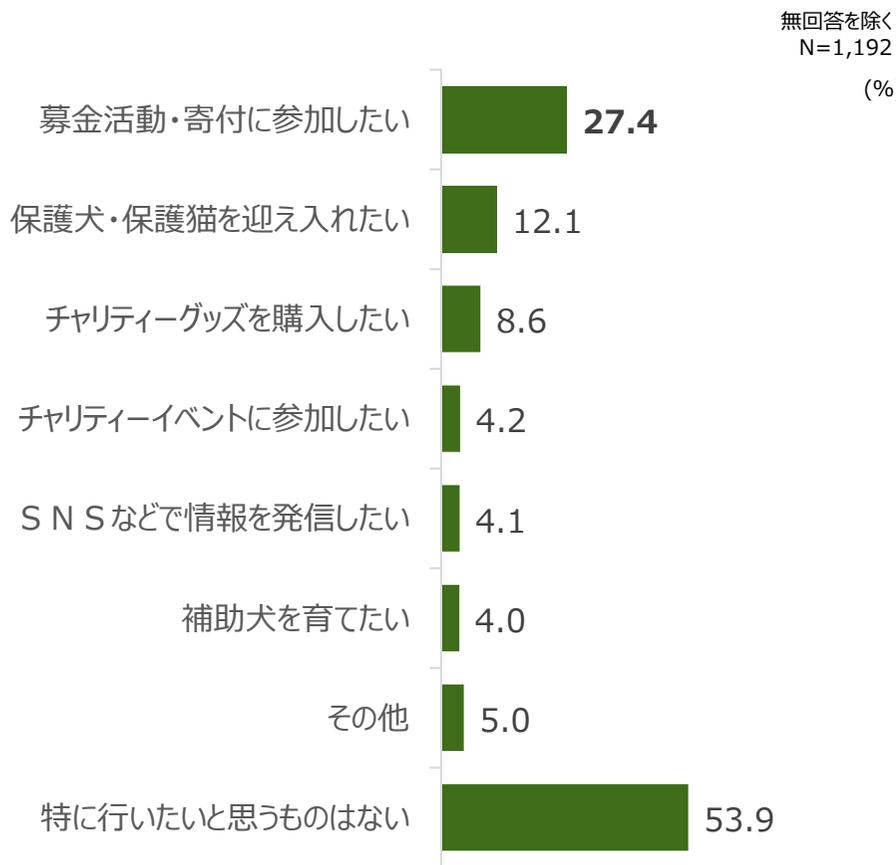
- 殺処分ゼロ活動を支援する企業に対して、商品やサービスを購入するなどして応援したいかを聞くと、回答者全体の約半数は「応援したい」と回答。

参加したい殺処分ゼロ活動

【すべての方に】

問9 犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動や補助犬の支援について、あなたが今後参加・行いたいと思うものをお知らせください。(〇はいくつでも)

参加したい殺処分ゼロ活動

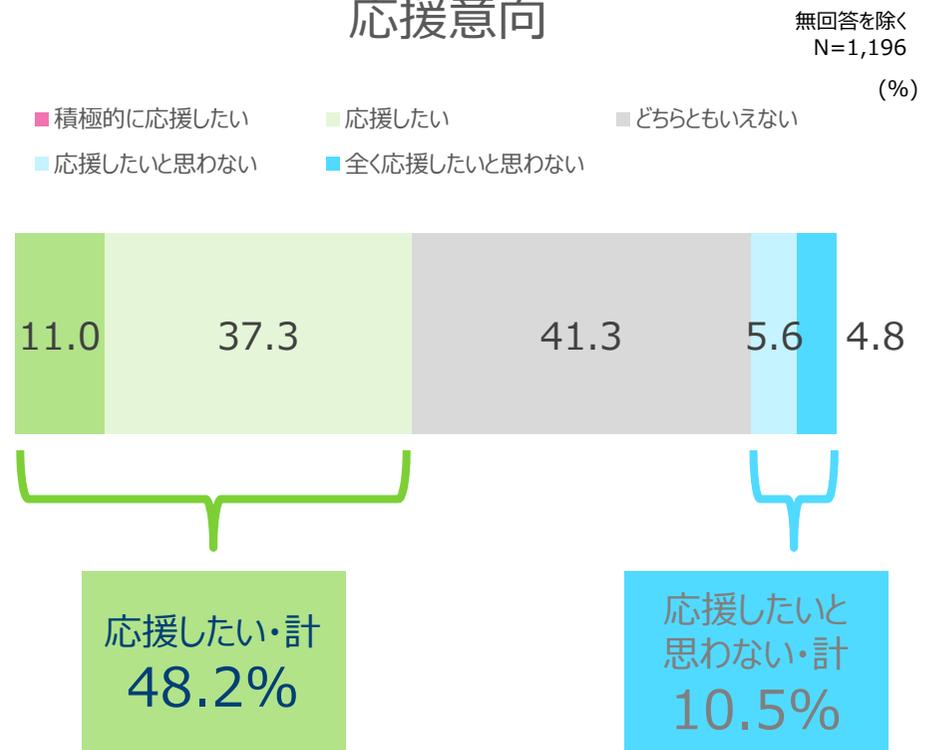


殺処分ゼロ活動を支援する企業への 企業への応援意向

【すべての方に】

問10 犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動や補助犬を支援する企業に対して、商品やサービスを購入するなどして応援したいと思いますか。(〇はひとつ)

殺処分ゼロ活動を支援する企業への 応援意向



※「応援したい・計」は、「積極的に応援したい」、「応援したい」の回答を合算したもの

※「応援したいと思わない・計」は、「応援したいと思わない」、「全く応援したいと思わない」の回答を合算したもの

調査概要

- ◆ **調査方法** : NOS（日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ）
調査員による個別訪問留置調査
- ◆ **調査対象者** : 全国の15～79歳男女個人 1,200人
- ◆ **回収サンプル数** : 1,200サンプル
 - ※2015年国勢調査の結果を基に人口とエリアで割付
 - ※各エリアの内訳は以下の通り
 - 北海道・東北 : 北海道, 青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島
 - 関東 : 茨城, 栃木, 群馬, 埼玉, 千葉, 東京, 神奈川, 山梨, 長野
 - 中部・北陸 : 新潟, 富山, 石川, 福井, 岐阜, 静岡, 愛知, 三重
 - 近畿 : 滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山
 - 中国・四国・九州 : 鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口, 徳島, 香川, 愛媛, 高知, 福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄
- ◆ **調査期間** : 2022年6月1日（水）～6月14日（火）

性別・年代別・エリア別データを無料でご提供することが可能です。お気軽にお問い合わせください。

「引用・転載時のお願い」

本レポートの外部への引用・転載の際は、下記連絡先にメールにてご連絡をお願い致します。

連絡先：日本リサーチセンター広報室（information@nrc.co.jp）

担当：営業企画本部営業企画部第3チーム 瀧上 悠人

必ず当社クレジットを掲載していただき、調査結果のグラフ・表をご利用の場合も、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。